

ねんりんピックとは、60 歳以上の方々を中心とした健康と福祉の総合的な祭典です。

今年度は秋田県で開催され、来年度は平成 30 年 11 月 3 日(土・祝)～6 日(火)の期間に富山県で開催されます。

富山県理学療法士会（以下、富山県士会）では、

9 月末現在、富山県と富山市からサポートの依頼を受けております。

そこで、来年度どのようなサポートを行ったら良いかを検討するため、秋田県理学療法士会（以下、秋田県士会）の活動内容を視察してきましたので、報告いたします。

秋田県士会が行ったサポートは大きく 2 つあり、①秋田市からの委託事業として競技サポートと②秋田県からの委託事業として健康フェアへの出展が行われていました。その他、秋田県士会独自に一般住民の健康に対する意識調査が行われていました。

①競技サポートについて

サッカーサポートについて

会場は八橋運動公園（秋田駅から車で 15 分）、グラウンドは 4 つあり、グラウンドの中間スペースに各県の選手団待機場所があり、秋田県士会のサポート場所はその中央に位置していました。

秋田県士会のトレーナーブースの隣にはドリンクコーナーがあり、気軽に立ち寄りやすい雰囲気でした。

30 畳程のスペースに、ベッド 5 台（すべて秋田市が準備）、テーピングバッグ 5 つ（EB・EBH・CB・キネシオ・アンダーラップ・アイシングラップ）が準備されていました。

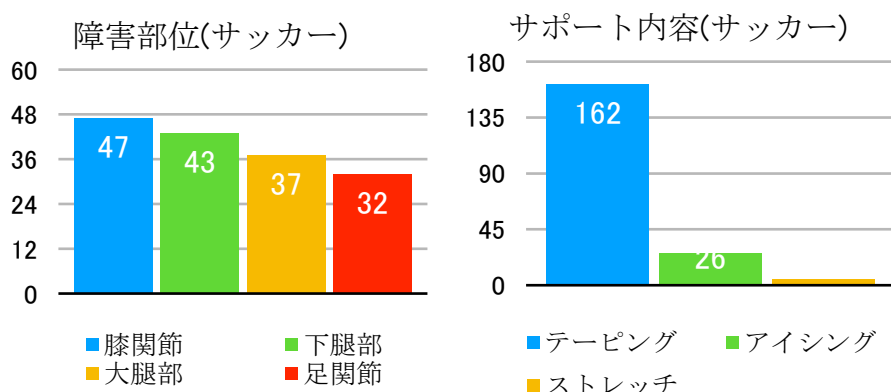
アイシング用の氷は大きくコンビニのロックアイスサイズでした。

スタッフは 2 日間延 14 名で、スタッフの内訳は、AT 有資格者 1 名、他半数は普段からサッカーや野球をサポートしているスタッフ、それ以外はスポーツへのサポートに興味を持つ者で記録や備品の準備や整理などを担当していました。スタッフの養成については、事前の打ち合わせはなく、野球サポートなど既存事業に関わる人材育成の研修会を開催しスキルアップを進め、大会当日に備えておられました。

利用者数は 2 日間で 153 名(対応件数 201 件)でした。利用者の障害部位は膝関節 47 件(26%)、下腿部 43 件(24%)、大腿部 37 件(20%)、足関節 32 件(18%)でした。障害の内容は肉離れ 36 件(20%)、足関節捻挫 25 件(14%)、アキレス腱障害 21 件(12%)の順でした。

サポート内容では、対応時期は試合前が 152 件(76%)、試合後が 44 件(22%)で、対応内容はテーピング 162 件(81%、試合前 150 件)、アイシング 26 件(13%)、ストレッチ 5 件(2.5%)でした。

テーピングの内容では、対応部位は膝関節 43 件(27%)、下腿 39 件(24%)、大腿部 30 件(19%)、足関節 28 件(17%)で、目的は症状緩和 92 件(57%)、予防 62 件(38%)でした。



トレーナーテント

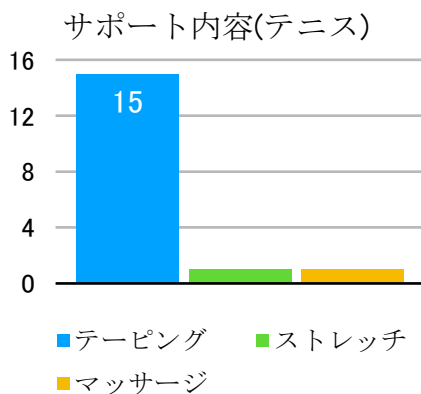
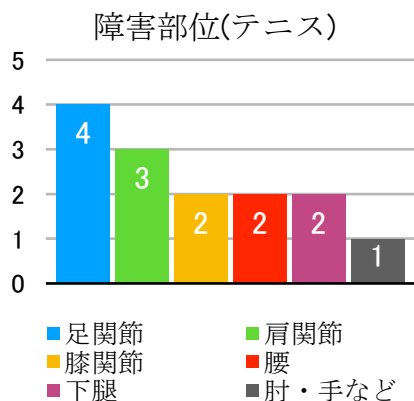


テニスサポートについて

会場は秋田県立中央公園テニスコート（秋田駅から車で 45 分）、敷地内には開会式があった県営陸上競技場があります。コートはハードコートで 20 面あり、秋田県士会のサポート場所はテニスコート入り口と対面にある救護所の隣で、鍼灸マッサージと同じテントで活動していました。テントは、18 畳程のスペース内を 3 区画に仕切り、共有スペース 1 区画、PT・鍼灸マッサージ各 1 区画(6 畳)、PT 区画にはベッド 1 台、テーピングバッグ 1 つ(内訳はサッカー会場同様)準備されていました。

利用者は 2 日間で 17 名(対応件数 17 件)でした。

利用者の障害部位は足関節 4 件、肩関節 3 件、膝関節 2 件、腰 2 件、下腿 2 件、肘関節 1 件、手関節 1 件、疲労感 1 件、両下肢倦怠感 1 件でした。サポート内容は、テーピング 15 件、ストレッチ 1 件、マッサージ 1 件でした。2 日目は悪天候で競技開始が 2 時間遅れ、ルール変更により短縮競技となり利用者が午前中に集中したとの事でした。なお、隣に医師が常駐の救護所があり、急性の外傷、体調不良などの対応が行われていました。



テーピングバッグ&大きすぎる氷



健康フェアについて

テーマは「～まだ間に合う！これから始める健康づくり！」、サブテーマは「健康について、まずは運動から考えてみませんか？」と題して、にぎわい交流館 AU2 階で開催されていました。

この施設は、秋田駅からアーケード街を通り徒歩 15 分程の所にあります。富山県では、富山市まちなか総合支援ケアセンターのような複合施設です。会場 2 階全体が秋田県士会を含む 10 団体の健康フェアの出展スペースで、秋田県士会のブースは、他のブースから離れた位置にあり、他団体が 6 畳程のスペースに対して秋田県士会は 30 畳程のスペースで、団体内で最大のスペースを確保していました。

秋田県士会のブースは駐車場の通用口・トイレ・階段が近くにあり、動線として非常に多くの人を通る場所でした。受付では資料を配布（秋田県士会リーフレット・介助のコツリーフレット・笑顔をあきらめない冊子・介護予防冊子・横手市らくらく体操冊子）していました。

受付付近では椅子を 20 脚程並べて、ご当地体操横手市らくらく体操の DVD を放映していました。PT は細かな指示を与えることなく見守りながら、やりたい方が気軽に DVD を見ながら体操していました。

運動機能測定コーナーでは、開眼片脚立位・握力測定・棒反応時間・立ち上がりテスト・体前屈測定の 5 種類の測定が行われており、それぞれ 1～2 名が指導と記録を行っていました。測定結果は 10 段階のレーダーチャートで記録され、簡単なフィードバックを与えて終了という流れで行われていました。

運動機能測定は、秋田県士会が PT 週間事業で毎回行っている内容であり、携わるスタッフも経験者が多く、特に事前の打ち合わせは行わなかったとのことでした。

利用者は、9/9 : 177 名、9/10 : 264 名、9/11 : 114 名、合計 555 名と非常に多くの参加があり、3 日間で延べ 42 名のスタッフで対応されていました。

なお、秋田県 PT 週間事業では例年 150 名の参加があり、視察した日は特に大盛況でした。

全体の感想としては、サポート内容を秋田県士会で集められる人材でコンパクトにまとめて実施している印象でした。これは、秋田県士会のこれまでの公益事業の実績があるからこそ、出来る事だと思います。ただ、サポートスタッフは秋田県内の施設から多く集まった訳ではなく、理事がいる施設のスタッフが中心となっており、サポートスタッフが多施設に広がっていないといった富山県士会同様の課題を抱えていると感じました。

横手市らくらく体操



運動機能測定



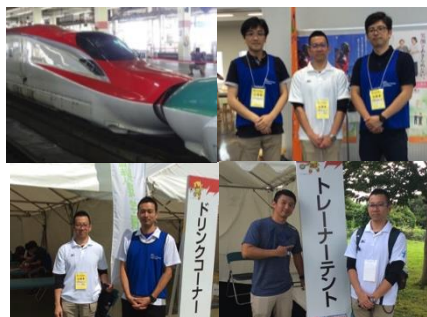
運動機能測定：満員御礼



会としては、全国からの参加があるイベントであり、健康増進分野での理学療法士の活動をアピールできる絶好の機会であると思います。事業へのサポートに向けて、9月27日に第1回ねりんピック準備委員会(委員長：堀尾会長)が開催され、関連部局20名で話し合いました。今後は、依頼があった県や市の担当者とサポート内容を検討し、関連部局が連携を深めて準備していきます。県士会員の皆様におかれましては、ご多用と思いますが、サポート依頼の際には是非ご協力をお願いします。

最後に、大会1週間前の慌ただしい中、突然の視察依頼にもかかわらず、各会場への送迎から昼食の手配、更には地酒といぶりがっこのお土産を頂くなど、快く対応していただいた秋田県士会の須藤副会長、畠山副会長、担当理事の田安先生、福原先生、を始め、秋田県士会員の皆様に感謝申し上げます。

秋田県士会の皆様



参考資料：

■ 秋田県と富山県の比較

- 秋田県について () は富山県士会
- 面積：11,637.52km² (4,247.61km²)
- 人口：999,444 人 (1,057,570 人)
- 人口密度：85.9 人/km² (249 人/km²)
- 高齢化率：34.7%* □全国最高 (30.6%)
- 市町村数：31 市町村 (13 市 6 郡 9 町 3 村) (15 市町村(10 市 4 町 1 村))
- 秋田県士会について
- 会員数：575 人 (780 名)
- 施設数：100 施設 (172 施設)
- 地区ブロック：3 ブロック (7 ブロック)

■ 依頼の経緯

平成 28 年 9 月、秋田県において大会準備委員会が設置され、秋田県士会菅原県士会長が参加

平成 28 年末、秋田県士会にサポート依頼があった

依頼の内訳は、秋田県から健康フェア、秋田市からスポーツ交流大会およびふれあいスポーツ交流大会の依頼があった

それぞれ秋田県、秋田市からの委託事業である

スポーツ交流大会・ふれあいスポーツ交流大会のサポート内容は秋田県士会理事・班長で協議し、会員の技能やマンパワーを考慮し、サッカーとテニスへのサポートを決定

■ 事業分担について

スポーツ交流大会・ふれあいスポーツ交流大会は障がい予防・スポーツ支援班が担当、健康フェアは公開事業部と調査活動班が担当、依頼事業以外に秋田県士会独自に調査活動班が健康フェア会場にて健康に関する意識調査を実施

富山県士会の組織に置き換えると、公開事業部は広報局、障がい予防・スポーツ支援班は社会事業局、調査活動班は情報管理部、が該当

■ 競技種目について

競技は、交流大会と称して 10 種目のスポーツ交流大会、12 種目のふれあいスポーツ交流大会、4 種目の文化交流大会がある。スポーツ交流大会はチームごとに優勝を目指して競技を行う、ふれあいスポーツ交流大会は勝敗を決するが交流することが目的、文化交流大会は文化的なイベントを通じて交流することが目的、という位置付けで開催。富山では文化交流大会が 1 種目増え、27 種目行われる。

種目は以下の通り

スポーツ交流大会：卓球、テニス、ソフトテニス、ゲートボール、ペタンク、ゴルフ、マラソン、弓道、剣道

ふれあいスポーツ交流大会：グラウンド・ゴルフ、ラグビーフットボール、サッカー、ソフトバレーボール、ウォークラリー、太極拳、軟式野球、ダンススポーツ、マレットゴルフ、パークゴルフ、ミニテニス

文化交流大会：囲碁、将棋、俳句、健康マージャン、川柳

■ その他

秋田県士会としての関わりはないが、男鹿市で開催されるラグビーフットボール、横手市で開催される卓球には各市から PT が在籍する当該市内施設へ直接依頼しサポートしている

■ 健康フェア

秋田県士会の他に、秋田県作業療法士会・秋田県言語聴覚士会・医師会・看護協会・薬剤師会・栄養士会・食生活改善推進協議会・歯科医師会・歯科衛生士会、が出展

■ にぎわい交流館について

市民の芸術・文化活動・学生の交流を目的に H24 年にオープンした秋田市が国の補助金を活用し指定管理者制度を活用し秋田まちづくり株式会社に管理運営を委託している施設

■ 9月10日の視察日程（タイムスケジュール）

10：00~10：15 健康フェア見学→サッカー会場へ移動

10：30~11：30 サッカー会場見学→健康フェア会場へ移動

11：45~12：45 昼食、富山県ブース他見学→テニス会場へ移動

13：30~14：30 テニス会場見学→健康フェア会場へ移動

15：10 秋田県 OT 士会・ST 士会・医師会・看護協会・薬剤師会・栄養士会・食生活改善推進協議会・歯科医師会・歯科衛生士会見学

17：00 視察終了